※１　原則的処理による金利スワップの時価は、金利等の観察可能なインプットを用いて割引現在価値法により算定しております。
※２　金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象である債券と一体として処理されているため、その時価は、当該債券の時価に含めて記載しております。
※３　通貨スワップ及び為替予約の振当処理によるものは、ヘッジ対象である外貨建債券及び外貨預金と一体として処理されているため、その時価は、当該債券等の時価に含めて記載しております。
※４　将来の債券発行をヘッジ対象とする場合には、当該予定取引が実行されるまで、決算日において通貨スワップを時価評価したことによる評価差額を繰延ヘッジ損益として計上して繰り延べております。当該通貨スワップの時価は、為替等の観察可能なインプットを用いて割引現在価値法により算定しております。

（注２）金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

	１年以内	１年超２年以内	２年超３年以内	３年超４年以内	４年超５年以内
貸付金	1,777,570	1,745,215	1,699,225	1,633,913	1,571,802
有価証券					
満期保有目的のもの	272,000	—	—	—	—
預け金	908,700	—	—	—	—

	５年超10年以内	10年超20年以内	20年超30年以内	30年超40年以内
貸付金	6,185,416	6,365,063	1,657,683	64,288
有価証券				
満期保有目的のもの	—	—	—	—
預け金	—	—	—	—

（注３）債券及び借入金の決算日後の返済予定額

（単位：百万円）

	１年以内	１年超２年以内	２年超３年以内	３年超４年以内	４年超５年以内
債券	2,069,380	1,476,386	1,782,405	1,595,107	1,601,498
借入金	88,000	104,500	140,000	97,800	82,600

	５年超10年以内	10年超20年以内	20年超30年以内	30年超40年以内
債券	5,188,296	4,508,144	361,000	99,000
借入金	13,000	3,600	—	—

３．金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の３つのレベルに分類しております。

レベル１の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル２の時価：レベル１のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル３の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

⑴　時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

（単位：百万円）

	時価			合計
	レベル１	レベル２	レベル３	
デリバティブ取引				
ヘッジ会計が適用されているもの	—	102	—	102
デリバティブ取引計	—	102	—	102

⑵　時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債

（単位：百万円）

	時価			合計
	レベル１	レベル２	レベル３	
⑴　貸付金	—	—	21,197,673	21,197,673
⑵　有価証券				
満期保有目的のもの	—	272,000	—	272,000
⑶　現金預け金	—	908,700	—	908,700
⑷　金融商品等差入担保金	—	—	—	—
資産計	—	1,180,700	21,197,673	22,378,373
⑴　債券	—	17,501,886	—	17,501,886
⑵　借入金	—	518,032	—	518,032
⑶　金融商品等受入担保金	—	370,616	—	370,616
負債計	—	18,390,534	—	18,390,534

（注１）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

資産

⑴　貸付金

貸付金については、繰上償還等を見込んだ将来のキャッシュ・フローを、令和７年３月31日現在の国債レートを用いて算出した割引率で割り引いて時価を算定しております。

このうち、繰上償還については、過去一定期間の繰上償還実績額が過去一定期間の定期償還額に占める割合を算出し、後年の定期償還額に乗じて算定を行っております。